



川崎大師ロータリークラブ 週報

例会日: 毎週水曜日 PM12:30~
 例会場: 大本山川崎大師平間寺信徒会館
 事務局: 〒210-0812 神奈川県川崎市川崎区東門前1-15-10 カーサ石井1F
 Tel: 044-277-7569 Fax: 044-288-8550
 URL: <http://www.kawasakidaishi-rc.com/> E-mail: daisi-rc@eagle.ocn.ne.jp

会長 岩井 茂次
 副会長 船木 幸雄
 幹事 秦 琢二
 SAA 猪狩 佳亮

第2156回 (本年度 第11回) 例会 平成29年9月27日 一晴一

- 司 会 猪狩 佳亮 SAA
- 点 鐘 岩井 茂次 会長
- 齊 唱 「友達になろう」伊藤佳子 会員

卓話者の紹介 岩井茂次 会長
 川崎市 臨海部国際戦略本部
 臨海部事業推進本部 課長 山川浩己様

会長報告 岩井茂次 会長

① 11月11日 地区大会に併せてロータリアン芸術祭・子ども芸術展が開催されます。作品出展案内を回覧します。ご希望の方ご出展をお願いします。
 子ども芸術展は未就学児童が対象になり、幼稚園生お子さん、お孫さん等いらっしゃる方は奮ってご参加下さい。10名出展させていただきますが、既に1名須山さんのお子さんに描いていただいております。

② 9月20日に開催した第1回臨時理事会の議事録を配布させていただきました。ご確認の程よろしく申し上げます。



幹事報告 秦 琢二 会員

① ゆずりは園より広報誌「ゆずりは」第55号が来ましたので回覧させていただきます。

② 10月15日 聖光学園でロータリーリーダーシップ研究会 RLIパートIIが開催の案内が来ています。回覧させていただきます。

出席報告

森田 尊久 出席委員長

	会員数	対象者	出席	欠席	出席率
2156回	56	45	28	17	62.22%
2154回	56	47	30	17	63.82%
前々回の修正	メイクアップ 4名		修正出席率		72.34%

メイクアップ

野澤隆幸 会員、林 鶴 会員、横山俊夫 会員
 永松慎太郎 会員



スマイルレポート (ニコニコボックス) 船木幸雄副会長



渡辺富士夫会員

妻の誕生日にお花をありがとうございます。

中村眞治会員

山川さん本日はお世話になります。卓話ヨロシクお願い致します。

宮山光男会員

9月9日～16日まで第31回、世界宗教者平和の祈りの集いで、ドイツ、オスナブリュック、ミュンスターへ行ってまいりました。

猪狩佳亮会員

本日は愛妻の誕生日です。きれいなお花ありがとうございます。大変喜んでいました。

秦 琢二会員

山川様、本日は卓話ありがとうございます。宜しく申し上げます。

岩井茂次会長

本日で第1四半期が終わります。充実した3ヶ月でした。来月からは秋らしく落ち着いた季節を楽しみにロータリーライフを楽しみにしたいと思います。体調に気を付けて、元気に笑顔で過ごしましょう！！
山川様、卓話を楽しみにしています。よろしくお願い致します。

本日のニコニコのテーマ

「山川様、ようこそお越しくださいました。
本日の卓話 宜しく申し上げます。」

内田省治会員、鈴木昇二会員、黒澤 穰会員
須藤 宏会員、星野祐治会員、牛山裕子会員

水口 衛会員、大崎克之会員、伊藤佳子会員
矢野清久会員、横山俊夫会員、布川 浩会員
寺尾 巖会員、細谷重徳会員

合計 75,000円

委員会報告

米山奨学事業委員会 横山俊夫委員長



10月は米山月間です。11日には米山学生の卓話が入っています。寄付金の集金をさせていただきますので、ご協力宜しくお願いします。

ローターアクト委員会 鈴木昇二委員長



川崎大師ローターアクト10月度例会案内
第1例会10月5日木曜日 19時30分～ 大師RC事務局
第2例会10月17日火曜日 19時30分～ 大師RC事務局
内容は陶芸体験をしよう
来週の例会(4日)川崎大師ローターアクトクラブ三役と直前会長がゲストとして来訪します。

職業奉仕委員会 中村眞治委員長



本日卓話で概要について説明いただきますが、10月18日(水)職場見学があります。
出欠表とスケジュール回覧しております。

地区RLI委員会 中村眞治委員
10月15日(日) 聖光学園で開催されます
10月3日に打合せをしますので
案内を次回回覧致します。ヨロシクお願いします。

卓話者の紹介 職業奉仕委員会 中村眞治委員長

川崎市 臨海部国際戦略本部
臨海部事業推進本部 課長
山川浩己様

卓話

「殿町国際戦略拠点「キングスカイフロント」について」

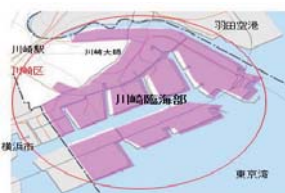


平成29年9月27日
川崎大師
ロータリークラブ 様

殿町国際戦略拠点「キングスカイフロント」について
～力強い産業都市づくりを推進するライフィノベーションの取組～
臨海部国際戦略本部

川崎臨海部の概要

川崎臨海部は、川崎区の72.0%、川崎市全体の約2割を占める。



川崎市	144.35 km ²
川崎区	40.25 km ²
川崎臨海部	約28 km ²

- 製造業の従業者数 24,565人
 - 製造業の事業所数 414事業所
 - 製造品出荷額 3兆5,686億円 (川崎市全体の78%を占める。)
- (※平成26年工業統計調査 川崎区のみ)

1

川崎臨海部に位置するキング スカイフロント

川崎の南端は、世界の最先端。

川崎区殿町に位置するキング スカイフロントは、健康・医療・福祉・環境の分野での研究開発を新しいビジネスにつなげるオープンイノベーション拠点です。「キング(King)」は、「Kawasaki Innovation Gateway」の頭文字と「殿町」に由来。「スカイフロント(SkyFront)」は、羽田空港の多摩川対岸という立地から、世界とつながる拠点であることを表しています。



2

産業構造の転換等による川崎臨海部の遊休地化



3

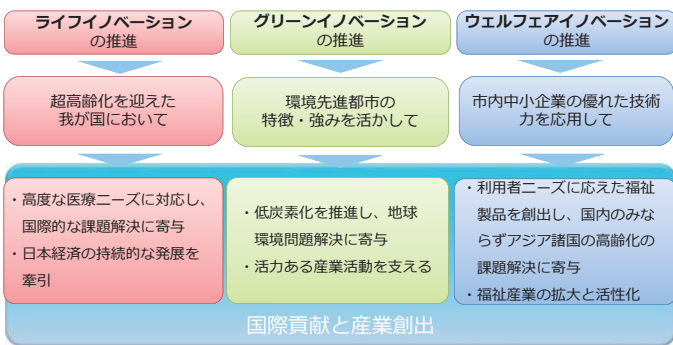
川崎生命科学・環境研究センター (LiSE)



8

「力強い産業都市づくり」に向けた3つイノベーション

成長が期待される産業分野における取組を推進



5

川崎生命科学・環境研究センター (LiSE)

●民間のノウハウ・ネットワークを活かした整備 (PPP: Public Private Partnership)

- 公共用地に民間が施設整備
- 民間施設に公共施設が入居

●産学官の連携でイノベーションの創出を目指す

施設名称: **川崎生命科学・環境研究センター LiSE (ライズ)**
Life Science & Environment Research Center

●フロア構成

レンタルラボ:

- 神奈川県産業技術総合研究所
- (株) エスアールエル
- (株) 天然素材探索研究所
- ソルベイ日華
- アルコールポレーション
- LabPMM

敷地面積: 約7,000㎡
延べ床面積: 約11,400㎡

●「環境総合研究所」

●「健康安全研究所」 (所長 間部 信彦)

●「川崎市キックスタートマサ」センター (H28年4月～)

●「慶応義塾大学霞町リサーチハウス」 (カフェ・会議室等)

「川崎生命科学・環境研究センター (LiSE)」 2013 (H25) 年3月28日運営開始

LiSE内のカフェ「モトモト」がエクスプレスフォルテ。研究者の相互交流を促進します。

9

殿町国際戦略拠点 キングスカイフロント

KING SKYFRONT = Kawasaki Innovation Gateway at SkyFront

今後成長が見込まれ、世界が直面している課題の解決に貢献する
ライフサイエンス・環境分野の研究開発拠点



6

ナノ医療イノベーションセンター iCONM

●文部科学省の補助事業 国際科学イノベーション拠点として施設整備

●特徴

- 国内外の産学官民が一つ屋根の下で新たな産業や雇用を創出するため、革新的課題の研究開発に異分野融合体制で取り組む。

●平成27年4月運営開始

●施設概要

- 敷地面積: 約8,000㎡
- 延床面積: 約9,500㎡
- 地上4階建て

センターにおける取組

文科省の革新的イノベーションプログラム (COI STREAM) の探択拠点 COINS (Center of Open Innovation Network for Smart Health) は、将来の社会ニーズを先取りし、国内外の大学や企業が最先端の技術、人材、アイデアを持ち寄ることで「未来を変える製品・サービス」を開発する全く新しい発想の研究拠点。

- 難治がんを標的化し、駆逐できるナノマシンの開発
- 採血不要の在宅がん診断システムの開発
- 社会実装に向けた社会システム構築 など

研究体制

プロジェクター: 木村 廣道 (グローバル企業の経営経験 国際的な産学官連携に精通)

研究リーダー: 片岡 一則 (教育・研究PITのリーダー経験多数、ベンチャーでの事業化実績)

公益財団法人川崎市産業振興財団

ナノ医療イノベーションセンター (iCONM)

実験動物中央研究所

- 名称：公益財団法人 実験動物中央研究所
- 創設者：野村 達次 (1952年設立)
- 構成員：
 - 所員 約70名
 - 派遣・外部共同研究員 約50名
 - 合計 120名
- 医療・新薬の有効性確認・安全性検証のために必要不可欠な、最先端の研究基盤の開発と実用化に取り組む



「実中研 再生医療・新薬開発センター」
2011(H23)年7月12日運営開始
敷地面積：約6000㎡
延べ床面積：約11,500㎡

中枢神経の再生医療実現に向けて

- 慶應義塾大学医学部 岡野栄之教授と連携し、iPS細胞を用いた再生医療による脊髄損傷治療の開発を推進



岡野栄之教授

コモンマーモセット



「nature」2009.5.28号

NOGマウス/ヒト化マウス



超免疫不全マウスを開発

理化学研究所や国立医薬品食品衛生研究所との連携

- 理研 BSI発生神経生物研究チーム 御子栄彦シニア・チームリーダーによるマーマセットを活用した脳科学研究
- 国立医薬品食品衛生研究所 薬理部 iPS細胞を用いた心筋細胞による薬効・薬理・安全性の検証



御子栄彦シニア

12

＜ホテルイメージ図＞



＜大浴場(イメージ)＞



使用済みプラスチック由来の低炭素水素を活用する世界初の水素ホテル
昭和電工川崎事業所で作られる使用済みプラスチック由来の低炭素水素を、水素パイプラインにより直接送給し、大型燃料電池でエネルギー利用する世界初の水素ホテル。



電圧 100kW/h
ホテル全体の約30%のエネルギー削減
1,620円/h (60℃)

15

ジョンソン・エンド・ジョンソン (株) 東京サイエンスセンター

- ・本社：米国
- ・総従業員数：約128,000名
- ・年間総売上高：約713億ドル (2013年度)
- ・事業内容：
 - 医療機器 (ステント、カテーテル等)
 - 診断薬、健康用品 (コンタクトレンズ) の輸入・製造販売
- ★売上高世界一の医療機器メーカー



東京サイエンスセンターの事業概要

- 高度医療機器の安全使用のために、外科手術シミュレーション装置や最新設備を使った医師向けのトレーニング
- 開発中の医療機器の評価試験など
- ※海外からも年間2万人を超える医師・看護師など医療従事者が利用



- ※ 東芝製のCT等の画像診断装置を活用したトレーニングプログラムを実施。

イメージ

13

羽田連絡道路の整備



連絡道路 橋梁イメージ図 (羽田空港側より多摩川上流を望む)

16

研究開発ラボ・交流促進機能の導入

【開発コンセプト】

大和ハウス工業 (株) が、UR都市機構から4.6haの用地 (A地区) を取得
 ■「ライフサイエンス」「賑わい・交流」機能、そして「憩い」機能からなる『キャンパス』の創出
 ■「賑わい・交流」機能と「憩い」機能をもって、「ライフサイエンス」機能の活性化
 研究者の交流及び情報交換を以って、新薬の共同開発等へと繋がるような施設・空間の創出
 また、日本各地、海外からも研究者等を呼び込み、賑わい・交流が形成されるような開発



- 【全体 計画概要】
- 土地面積：46,172.91㎡
- 建物計画：商業棟と研究棟、合計6棟 前後からなる計画

- 【第一次開発 (予定)】
- ◆商業棟 カフェレストラン 宿泊施設 他
- ◆研究棟 レンタルラボ

14

羽田空港まで、わずか600m



「キングスカイフロント～羽田空港」は直線距離でわずか600メートルというアクセスの良さが何よりの魅力です。羽田連絡道路の整備により、利便性はますます高まっていくと期待されています。

17

サイエンスをもっと身近に。

<市民還元・学校連携の取組>
市内中学校・高校の生徒を対象とした視察ツアーを開催し、世界最高水準の科学技術に触れ、「サイエンス」を身近に感じてもらう、科学技術に対する興味・関心を持つきっかけづくりを行っています。



～生徒たちの声～
○地元の川崎にこんなにすごい施設があることを初めて知りました。将来ここで研究したいと思った。
○とても充実した実験設備や高級ホテルのような開放感あるコミュニケーションスペースなど、素晴らしい研究環境だと思います。
○理科系は苦手でしたが、研究の話は夢があって、分りやすく興味がありました。

16.07.29 川崎総合科学高等学校科学科2年生 40名
16.10.13 橘高等学校国際課2年生 40名
17.03.09 市立川崎高校附属中学校2年生 120名

18

未来の科学者を、ここから



キングスカイフロントで開催されている「夏の科学イベント」は、小学生を中心に子どもから大人までが研究施設を訪れ、ゲームや体験を交えながら科学に親しむイベントです。本格的な機材を使って外科手術の体験をしたことも、「将来は獣医さんになりたい」と夢を語りました。身近にサイエンスと触れあえるエリアとしても最先端をめざします。

19

謝辞 岩井茂次会長

山川様、本日は貴重なお話ありがとうございました。
キングスカイフロントということで私自身も生まれ育った川崎のまちが子どもの頃は光化学スモッグとか公害のまちということで育ったまちだったのですが、来月見学させていただき施設の説明やその他ジョンソン・エンド・ジョンソンの医療トレーニング。特にカテーテルという言葉は私自身カテーテルを4回やっていてその場で上手にやっていたかしないと命が助からない。川崎市が発展、その施設を作り最先端の医療機関のトレーニング等を行うことは素晴らしいことだなと思いました。
補足ですが本件の中でポリオという名前で私達ロータリークラブではなじみ深い話ですが今年も皆さんの一人一人の中から50ドル今週送金させて頂く予定です。こういったところも含め来月見学楽しみに皆様ぜひご参加いただきまして、詳細御案内は中村委員長から出ますし、又来月お世話になりますので今日のお話ありがとうございました。

その他 質疑

渡邊会員：前回の理事、理事会の内容を拝見させていただきましたが45周年の実行委員長、幹事辞任が承認され実行委員会を解散したとありますが、私もメンバーであるけれど全く提案がありませんでした。野澤委員長が4回も、5回も実行委員会を開いていて辞任をしたというのは何で辞任をしたのですか？理由は何故ですか？

岩井会長：前回の例会においては説明をさせていただいております。辞任の理由については本件で皆さんをまとめることは不可能だということで辞任させていただきたい、ということでした。前回クラブ協議会においても9月20日に予定されていた会議で打合せて検討することになっておりましたが、それを行った上で検討したらいかがでしょうかと慰留申し上げました。ところが、いずれにしても辞任をさせていただくということで詳細はその前の週に鈴木幹久会員、牛山裕子会員、鈴木昇二会員等調整に動いていただいたという現実がございます。その中で辞任の申し出。面談を申し込まれましたので受けとらざるをえない状況でそのような判断です。理由は、クラブ全体の意見が分かれてしまっていることで続けることはできないと申し出がありました。

渡邊会員：少なくとも実行委員会は周年事業をする実行委員会の中で検討することであり、執行部としてはある程度承認し続けたと思うんです。この前の例会の後であそこでお話しをしたではないですか。ホテルのことどうこうと話をしましたよね。その時に私ははっきり言ったじゃないですか。実行委員会で決めたことを意見として申し上げるのはよろしいけれど、それについてどうこうというのはまた別の問題だと、実行委員会があってもなくても同じじゃないですか。そう思います。

岩井会長：実行委員会で、おそらくこれは推察なのですが、実行委員会を構成している皆さんにおいては委員会で話し合った意見等全て理事会承認をされているという理解なのかなと思うのですがいかがでしょうか？

渡邊会員：それは違いますよ。

岩井会長：これは実際に理事会で承認されたことは理事会で、前年度の中では実行委員会が立ち上がったという事実だけで、その後構築されてきた意見、計画案が理事会においては上提されていないのが現実です。

その中で、8月30日のクラブ協議会の時に会員から意見が出た時に20日に検討すると言って終わったはずですが、17～18名の参加の予定があったのに対して、その手前で辞任する。これについて会議は行わない、中止すると申し出があります。

それを説明した周年実行委員長、幹事が辞任ということが大前提で、さらにはホテルのキャンセルが前提となっていたものでこれについてはその中心人物お二人で辞任ということであらざるを得ないという認識です。

渡邊会員：クラブの中で少なくとも周年事業の委員会を作っておき、理事会の内容において辞任の理由を申し上げないと言うことは会員全体に説明する義務があります。

岩井会長：これは非常にデリケートな事案だと思っております。1つは御本人にお確かめいただきながら、詳細はまた例会内でお話しをするのはかえって失礼で元に戻らない問題になるのではないかとということで、この書面自体は配慮を加えた内容となっております。

渡邊会員：実行委員会が解散をするということについて、会に説明するというのが必要だと思います。野澤さんは大師の中で皆さんから信頼を得ていて皆さん尊敬をしています。その方が実行委員長をやって4、5回会議を開いた中で辞任をするという理由をメンバーとしてはもっとお話しをすべきだと思います。

岩井会長：わかりました。この場でここで解決つけられるわけでもないでしょうしこれはまたクラブ協議会として行った話の中で、理事会という場を持って決定したものですので今の質問は受け取らせていただきながら、改めて場を作って回答、結論と話したいと思います。現実、緊急的に行った理事会での議論ですのでそこでの回答と言うことでご理解いただきたいと思います。

渡邊会員：周年事業をやる時は必ず実行委員会を設置しますね。そこで検討したものに執行部として異論を申し上げるのはよろしいと思います。実行委員会で決めたことに対する異議を唱えるならばきちんと筋を通して話をしてほしいと思います。

岩井会長：例会終了の時間もありますし卓話者にお越しいただいている中でこのようなお話しは申し訳ない状況ですのでここで打ち切らせていただきたいと思います。会員だけで審議を頂くのであれば、改めて別の場で私も

実行委員会の皆様も含めて集まった場で回答させていただきたいと思っております。ご了解ください。

渡邊会員：私もメンバーであるけれども解散をしたという趣旨の連絡もありませんでした。

岩井会長：先週の理事会で決定したことです。周年委員長、周年幹事の方から幾人かには通知が出ておりました。私は委員の皆様は周知されていたのかなという理解でおりました。幾人かの委員以外の方にも電話で周知がなされていたときいております。

●点 鐘 岩井 茂次会長

日時：平成29年10月11日(水)は
通常例会です。

月間卓話
ロータリー米山奨学生 金 勁佑様



八尋 匡彦/森田 尊久/星野 祐治

